

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	革新的薬物療法開発を指向した創造的薬剤研究の新展開				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	尾上 誠良
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	賀川 義之
		所属・職名	薬学部・准教授	氏名	宮寄 靖則
		所属・職名	薬学部・講師	氏名	内野 智信
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	近藤 啓
		所属・職名	薬学部・准教授	氏名	金沢 貴憲
		所属・職名	薬学部・助教	氏名	照喜名 孝之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	浅井 知浩
		所属・職名	薬学部・講師	氏名	米澤 正
		所属・職名	薬学部・講師	氏名	小出 裕之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	内田 信也
		所属・職名	薬学部・准教授	氏名	佐藤 秀行
	所属・職名	薬学部・助教	氏名	山田 幸平	
発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	尾上 誠良	

講演題目	創造的薬剤研究によるユーザーフレンドリーな薬物療法提供を目指して
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>安心かつ効果的な薬物療法を提供するうえで、薬剤の付加価値を高めた新規投与形態開発は急務の課題の一つとなっている。適切な投与形態のデザインは薬剤の服用性のみならず、副作用の回避、薬理効果の向上にも結実し、医薬品のライフサイクルマネジメントの観点でも重要性が高まっているのである。そこで本研究課題では、本学において蓄積された各種薬剤技術情報を体系的に整備しつつ拡充することで魅力的な DDS テクノロジープラットフォームを構築し、アカデミアに留まらず、製薬業界も強力に支援することを計画した。本学薬学部には製剤設計、動態・薬効解析ならびに臨床評価を専門とする教員が多く集まり、薬剤・製剤を研究対象として日夜精力的な研究が推進されている。各分野がこれまでに取り組んで来た研究成果とノウハウをさらに醸成するとともに、各分野間の所有する技術情報を相互利用しつつ臨床ニーズに答えることができる創剤シーズ発掘を試みた。成果として (i) 全身性作用を期待した吸入製剤開発によるバイオ医薬品の服用性向上、(ii) 副作用回避の観点から特定のがん組織にターゲティングした新規 DDS 開発、(iii) 服薬性の高い製剤開発とその臨床評価方法確立、(iv) 経口吸収性の高い高付加価値製剤開発、(v) 薬物皮膚透過機序の解明とそれを応用した新規経皮投与製剤開発などに成功した。得られた成果・技術情報はプロダクトライフサイクルマネジメントの観点においても極めて重要であり、本学薬学部が主催する 2021 年度 DDS カンファランス・創剤カンファレンス静岡 (2022. 9. 3, オンライン合同開催) において積極的に公表した。すなわち、本研究活動を通じて各分野間の連携強化により創剤ニーズの発掘に結実するテクノロジープラットフォームを構築し、薬剤・創剤研究活動の推進によって臨床ニーズに答える有用な投与形態の開発に結実したものと考えている。今後も魅力ある創剤シーズ・技術情報を継続して提示することで、医薬品開発事業を強力に支援できると確信する。</p>